

2015. 11 月号

平成 27 年 12 月 1 日発行

発行元 NPO法人陽だまり
 発行元住所 〒739-0025
 東広島市西条中央 7-17-35-101
 電話 082-422-4115
<http://www.npo-hidamari.or.jp>

主な記事

外出支援・生活交通課題への取り組み
 陽だまりクラブ / 訪問介護
 ケアマネジャー / 放課後こどもくらぶ
 事務局日より



外出支援・生活交通課題への取り組み



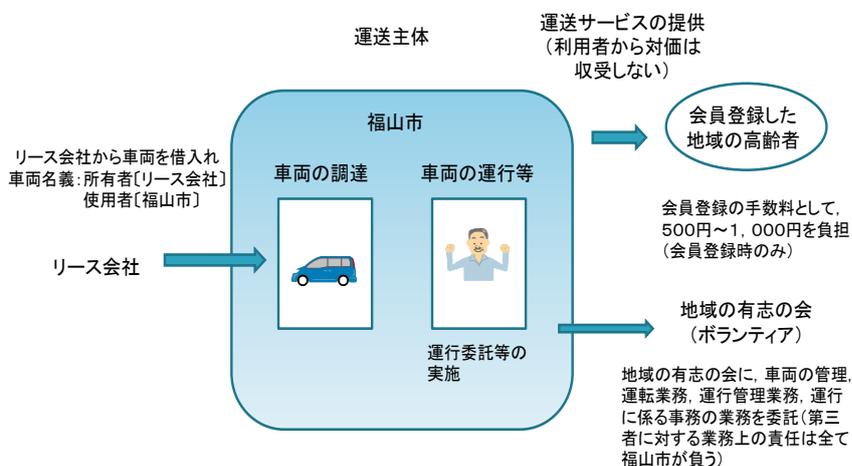
『陽だまり』は外出に困難を感じている人の移動を重要な課題と位置づけ、取り組みを続けています。今年度は『NPO法人結いの会』と共催で勉強会を開催しました。以下、報告します。

平成 27 年 7 月 18 日（土）、「生活交通を考える～年をとっても出かけたい！～」をテーマに、東広島市総合福祉センターにおいて福山市の取り組みを学ぶ勉強会を開催しました。参加者はこれまでになく幅広く、自治体、県議会・市議会議員、住民自治協議会、社会福祉協議会、交通事業者、NPOなど 22 団体から計 56 名の参加がありました。

福山市の「高齢者お出かけ支援事業」は、通院や買い物などが困難となる高齢者が増加していく中、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるようにと、行政と地域住民とが協働し創り出した仕組みです。小学校区を単位に地域住民・団体が主体となって高齢者の送迎を無償で行う事業で、現在 9 学区で実施されています。福山市が地域団体に委託する形を取っており、委託費は年 150 万円以内です。



福山市高齢者お出かけ支援事業実施イメージ



福山市の報告で特徴的だったのは、大きな枠組みは市が決めるものの地域団体の自主運営に大幅に任せるというスタンスでした。そのため、運行ルートも地域団体が決め、利用者に合わせた軽微なルート変更も認められていました。それぞれの地域の実情にあった運行となっているため、利用人数も年々増え続けているということでした。また、地域づくりという視点からドライバーは地域住民が担っているとのこと。高齢社会においても安心と活力のある社会をつくらうという新しい取り組みであると感じました。

アンケートより

終了後のアンケートでは内容についての満足度は非常に高く、「福山市の活動に感動した」「東広島市でも取り組んでいくべきだと思う」「何かを始める時の準備の大切さも知ることができた」などの感想が寄せられました。今後も参加者の期待に応えられるように実りある勉強会を企画していきたいと思ひます。



講師：福山市・加藤氏

(報告：市川マヤ)

陽だまりクラブ

平成25年2月より子育て中のAさん宅に週2回18:00～19:45で訪問し、調理のお手伝いをして下さっているBさん。これはある日の夕食の写真です。



Bさんに素敵なごはんになる秘訣を聞いたところ、何気ない料理でも彩りと盛り付けを工夫することで馳走に見えますとのこと。Bさんの心遣いと料理の腕前に感心するばかりです。料理が好きでそれが誰かのお役に立つなら…と活動してくださっています。

できる人ができることをできる時間で！陽だまりクラブと一緒に活動して下さる方、募集中です。

(報告：山口百合)

訪問介護

9月に利用者の皆さまに「訪問介護サービス利用アンケート」を実施し、49名の方から回答をいただきました(回収率84%)。全般に亘り良い評価でヘルパーの励みになった一方、事務所の電話対応には課題があることが分かりました。利用者の皆さまが安心して電話をかけられるように、事務所スタッフの接遇の改善に努めて参ります。今後もお気づきのことがありましたら、どうぞ遠慮なくお知らせください。(報告：佐々木政美)

「訪問介護サービス利用アンケート」質問項目と結果(一部)

- ヘルパーは予定された時間に訪問していますか。(はい 96%)
- ヘルパーはその日のサービス内容を確認してサービスを行っていますか。(はい 98%)
- ヘルパーの言葉づかいはいかがですか。(良い 88%)
- ヘルパーの身だしなみはいかがですか。(良い 76%)
- ヘルパーは笑顔で対応できていますか。(はい 92%)
- ヘルパーは予定された時間に終了していますか。(はい 92%)
- ヘルパーやサービス提供責任者は相談しやすいですか。(はい 82%)
- サービス提供責任者は訪問介護計画書の説明ができていますか。(できている 82%)
- 事務所の電話対応の言葉づかいはいかがですか。(良い 61%)
- サービスを利用することで以前より安心できる生活になっていますか。(はい 88%)



新活動者紹介

① 陽だまりに入ったきっかけ

② 趣味・特技 ③一言

村井 重子

- ① 自分に何か出来ることがあれば…役に立つことがあればとの思いから。
- ② 人は皆平等という気持ちと一寸の虫にも五分の魂があるとの思いを持って、分け隔てなく接することができると思います。
- ③ 自分が元気で働ける間は、人や社会の役に立ちたいと思います。

橋本 久美子

- ① 陽だまりの佐々木さんに声をかけられて。
- ② 動物を飼うこと。現在犬3匹、カメ1羽、シリス1匹、カメ2匹、ウサギ20匹、熱帯魚5匹、イ3匹、金魚5匹を飼っています。
- ③ これからも動物のお世話等で命をつないでいける活動が出来れば…と思っています。

辻 陽子

- ① 折込チラシの中にかわいい手作りのチラシを見つけて。以前からやってみたいと思っていたので応募したことがきっかけです。
- ② 思ったことは悩むよりすぐ行動すること。
- ③ まだまだ分からないことが多いですが、温かいスタッフの方に支えられてがんばっています。

ケアマネジャー

～初めての経験を通して～

石井 弥生

私こと子宮筋腫の手術のため9月中旬より休職し、関係者の皆さまにはご心配をお掛けしましたが、徐々に勤務時間を増やし11月より通常勤務に戻りました。

入院前は「あれも買って～、これも買って～」とまるで旅行気分準備をし、術後は「今日の目標→身体の動き→評価」など日頃の業務を生かし、余裕の入院生活を送りました(笑)。ところが、術後1か月位から動悸、倦怠感、記憶力の低下、音に敏感になるなどの「更年期症状」が現れ始めたのです。余りの辛さに主治医に相談した際、私の話に耳を傾け一緒に対処法を考えてくださる姿に救われ、病気は違いますが利用者さんの姿と重なる部分もあり、「こんな思いなのかなあ」と思いを馳せることが増えました。復帰後は、利用者さんの「お帰りなさい」「待っていたよ」「今日はこの前より目に力があるね」という温かい言葉に元気をもらい、同じ病気の経験者とは話をすることで気持ちを共有できる安心感ももらいました。今回の体験を通して気づいたこと、気づかされたことを今後の糧として生かして行けたらと思っています。みなさん、ありがとうございます。

放課後こどもくらぶ

保護者の声(4年生男子)

こどもくらぶに通うようになってから、学校の先生に子どもがとても積極的になっていますと言われました。授業中は自分から手を挙げる事が多くなり、友だちと一緒にいる時間も増えたそうです。

～多世代交流の魅力～

夏休みは、カレー・箱ずし・ケーキ等のクッキング、工作、国際交流、そして新たに平和体験学習を行い、秋休みには芋掘りとバードウォッチングに行きました。11月には6か月の赤ちゃんたちとの交流もしました。ここでしかできない貴重な体験活動を快く引き受け協力してくださったのは、大学生・若いママさん・シニアの皆さまでした。放課後こどもくらぶには常に多世代交流があり、それが子どもの個性と積極性を自然に伸ばし、表情を豊かにしていると感じます。特に、若さあふれる大学生は子どもにとって近い存在。こどもくらぶにとって頼もしく、ますます重要な存在になってきています。

(報告：山本陽子)



新学生スタッフ紹介

せきど たけし
関戸 豪



(呼び名：せつきー)

- ① ライブ鑑賞と旅行
- ② 大学で OPERATION つながりというボランティア団体に所属して子どもと関わることも多く、その経験を生かして新しいことにチャレンジしたいと思ったから。
- ③ 子どもたちに負けないように元気で明るく！声かけも自分から出来るように気をつけています。
- ④ 子どもたちから学びながら自分も成長していきたいと思えます。



①特技・趣味

②スタッフになった動機

③関わりで大切にしていること

④ひと言

いしうち ひろこ
石内 博子



(呼び名：らしえっと)

- ① ゲーム、ジャグリング(練習中)
- ② 子どもたちと遊ぶことが好きだから。
- ③ 子どもたちと同じ目線で。
- ④ 子どもたちと一緒に学ぶ！遊ぶ！楽しむ！！

- ③ 学校・学年を超えた交流
 - ② 個性が伸ばせる
 - ① 決まりが少ないので自由に
- ♪学生から見た魅力♪
- ① スタッフの年代がいろいろ

事務局だより

活動報告



1. 第2回運転者講習会

10月10日(土)・12日(月)、今年度2回目の福祉有償運送運転者講習会を開催しました。今回も申し込みが多く、東広島の外、福山、尾道、三原、大崎上島、呉、広島などから23名が受講しました。前回同様、車いすはダスキンヘルセント様、福祉車両はトヨタカローラ広島様が無償で貸して下さい、おかげ様で多くの運転者を育成することができました。各地で移動サービスが充実することを願っています。



2. お茶会

陽だまりにご縁のある方をお招きするお茶会が3年目になりました。今年度は季節ごとに年4回企画しています。すでに4月9日(木)「健康体操」、7月6日(月)「馬頭琴ミニコンサート」、11月11日(水)「ビーズアクセサリー作り」を行い、延べ27人の参加がありました。



ハイ アフウ
演奏：海阿虎さん(中国・内モンゴル)

その中でも特筆すべきは11月の会でした。今まで「お客さま」だった89歳の方がこの日は「先生」となり、得意の手芸を他の参加者に教えてくださったのです。さらに、子育てサークル「赤ちゃんとの時間」から3人のママたちも飛び入り参加!3人の6か月の赤ちゃんや2歳の女の子も一緒に、世代を超えた交流の場となりました。高齢者の皆さんは赤ちゃんの魅力に「癒される」と大喜びされ、ママたちも育児から解放されたひと時を楽しんでいました。穏やかな時間が流れ、そこに居合わせた全員が終始笑顔でした。お茶会がステキに発展しそうな予感。次回は1月です。



3. 夏休み子どもの居場所づくり

今夏も広島大学 OPERATION つながり、広島国際大学真砂ゼミのみなさんの協力の下、3回実施しました。例年通り午前中は宿題タイム。午後は「ぼよぼよ水」「琥珀糖」「アイス」などを作りました。普段接する機会の少ない大学生・高校生の存在に小学生のテンションも上がります。思う存分遊んでもらって大満足の日となりました。3日間で小学生の

べ85人、ボランティアのべ44人の参加がありました。今回は助成金がありませんでしたが、小学生・学生ボランティア双方にとって貴重な機会となっているため、今後もがんばって続けていきます。



ご寄付

西条ロータリークラブ様から放課後こどもくらぶの子どもたちのために、児童書・図鑑・DVD・レゴブロック・カメラなどをご寄贈いただきました。昨年に続き2回目です。本当にありがとうございます。



西条ロータリークラブ松重会長(写真右)

また、個人の方からも4名様から計124,000円のご寄付をいただきました。陽だまりクラブ、放課後こどもくらぶのために大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

お知らせ

放課後こどもくらぶでは、冬休みのご利用受付が始まりました。一時利用もできます。お気軽にご相談ください。(担当：山本陽子)